

## 事業進捗状況評価表に対する意見質問等

## ○ 事業進捗状況評価表2

ページ数	番号	意見質問等	委員名	担当課	担当課コメント
2	3	放課後児童健全育成事業(学童保育) 学童保育の定員超過問題についてですが、「何を優先するか」という考え方だけでなく、「どのように解決するか」という策をコメントしてほしいと思います。 また、資料28の学童保育の児童数に関してですが、R3,R4の平均利用人数が実績値になっている部分は、コロナで特例的に利用していないものも未利用としてカウントしているのでしょうか？	鈴木	児童青少年課	御指摘を受け、「学校施設内の施設併用利用や民間施設の活用及び民設民営を推進するなど」の文言を追記いたします。平均利用人数の実績値につきまして、カウント方法は、4月1日の登録人数から各所に利用見込み数を調査したもので、コロナで特例的に利用していないものはカウントしておりません。
2	3	放課後子ども教室事業 放課後子ども教室について、学校ごとの開催数を知りたいです。ばらつき等はあるのでしょうか。 また「居場所部会」との関係性・連携性はどうか考えたらいですか。	鈴木	生涯学習課 子育て支援課	放課後子ども教室について、学校ごとの開催数は裏面のとおりです。 また、居場所部会との関係性・連携性についてですが、令和4年8月9日開催第1回子どもの居場所部会資料5子どもの居場所全体イメージ(令和2年10月21日開催第1回子どもの居場所部会資料4子どもの居場所全体イメージ)でもお示ししているとおり、放課後子ども教室も子どもの居場所の一つと考えております。 昨年10月開催の第1回子ども・子育て会議の場で、委員の皆様から居場所づくりの推進のため、継続的な審議が必要ではないかという視点で部会設置の御提案をいただき、今期も子どもの居場所部会を設置した経緯がございますので、放課後子ども教室も子どもの居場所の一つというイメージの下、御審議ください。
3	4	子育て短期支援事業(ショートステイ) 確保計画730は、定員2名×365日だと思います。各日定員2名に対して「超えそうになった日があるのか」が重要であり、もし仮にそれがあるのであれば定員数の増加を検討する必要があると思います。	鈴木	子ども家庭支援センター	子どもショートステイ事業の利用状況は、年間宿泊数で、令和元年度5泊、令和2年度28泊、令和3年度24泊と推移しております。近年では、1日当たり2名を超えそうになったことはありません。今後も、利用者の御意見や利用状況を踏まえながら、適切な事業運営に努めてまいります。

## ○ 事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

ページ数	番号	意見質問等	委員名	担当課	担当課コメント
1	1-1 1	子どもオンブズパーソン 子どもオンブズについての進捗は素晴らしいと思いますが、いかに周知し利用してもらうかが現実的な課題と思います。この点もコメントがあるとよいと思います(1-4 1と一部重複しますが、意味合いが違うのでここにも書いていいと思います。)	鈴木	児童青少年課	御指摘のとおり、市でも機関の周知及び利用促進については課題として認識しておりますので、「子どもに対する機関の周知及び利用促進について、効果的に実施していくことが課題である。」という文言を追記いたします。